イラン核合意を採択

米欧など6カ国 制裁解除の準備開始

イランと米欧など6カ国は18日、7月に結んだ核合意を採択し、対イラン制裁の解除に向けた具体的な準備を始めた。イランは核施設の一部撤去や濃縮ウランの国外搬出など、核開発の縮小を進める。これを受けて、来年初めにも制裁が解除される見通しだ。

合意後、米国やイランの議会が内容の是非を審議したが、反対はしないと決まったため、採択に至った。イランは18日、国際原子力機関（IAEA）に強制力のある査察を認める追加議定書の暫定的な適用を通知。オバマ米大統領は制裁解除の準備を関係閣僚に指示し、欧州理事会も法的手続きの開始を決めた。

各国が準備を終えた段階で、IAEAがイランを査察する。核開発の縮小が確認できれば、実際に制裁を解除する。各国は合意を着実に実行するための合同委員会を立ち上げ、19日にウィーンで初会合を開く。

対イラン制裁は、イラン産原油の禁輸や輸入量の縮小、原油代金の支払い凍結、国際的な銀行間取引からの除外など多岐にわたる。手続きには数カ月かかり、解除の履行日は来年初めごろになる見通しだ。

イランのザリフ外相と、6カ国のまとめ役を務める欧州連合（EU）のモゲリーニ外交安全保障上級代表は18日、「合意の履行を確実にするため、各国が強力に取り組みを進める」と共同声明を出した。（テヘラン＝神田大介）

イスラエルで乱射 1人死亡

パレスチナ人?容疑者射殺

イスラエル南部ベルシェバの中央バスステーションで18日夜、発砲事件があり、イスラエル軍の兵士1人が死亡、兵士や警察官、市民ら11人が負傷した。パレスチナ人とみられる容疑者は、その場で射殺された。ロイター通信などが伝えた。

地元有力紙ハアレツは、警察当局者の話として「武装したテロリストがバスステーションに侵入し、兵士を射殺し、乱射を続けた」と伝えた。

エルサレム旧市街にあるイスラム教とユダヤ教の聖地をめぐる対立をきっかけにした衝突は今月に入り、急速に拡大。これまでにイスラエル人8人、パレスチナ人40人以上が死亡した。

ロイター通信によると、米国のケリー国務長官は近く、イスラエルのネタニヤフ首相とドイツで、パレスチナ自治政府のアッバス議長と中東で会談する。対応を協議するとみられる。（エルサレム＝渡辺丘）

東電、社債発行再開へ

来秋にも

東京電力は来秋にも、福島第一原発事故後に止まっていた社債の発行を再開し、3千億円規模を調達する見通しとなった。原発事故で社債市場の信用力が下がり、銀行からの借り入れに頼ってきたが、自力で調達して「実質国有化」から脱する足がかりをつくる。

発行額や時期の詳細は、金融機関などと今後詰める。ただ、業績回復を後押しする柏崎刈羽原発（新潟県）の再稼働が遅れれば、発行時期は遅れる可能性もある。

東電は原発事故の賠償などで経営危機に陥り、2012年夏に国が資本注入して議決権の過半数を握った。コスト削減に加えて電気料金も引き上げ、13～14年度は2年連続で経常損益が黒字となった。経営は持ち直しつつあるとして、16年度に運転資金として社債の発行再開を含めて1兆円を調達する計画をたてていた。

スイス総選挙 右派が伸びる

移民規制訴える

4年に1度のスイス連邦議会の総選挙が18日、投開票された。下院（定数200）では、難民や移民が欧州に押し寄せている現状を背景に、移民規制などを訴える右派政党の国民党と急進民主党が躍進した。スイス公共放送協会が伝えた。

スイス公共放送協会によると、上位4党の順位は選挙前と変わらなかったが、第1党の国民党は11議席増の65議席、急進民主党は3議席増の33議席（第3党）を得た。一方、第2党の左派の社会民主党は3議席減の43議席、第4党で中道のキリスト教民主党は1議席減の28議席だった。（ジュネーブ）

監視委員に寄付 菅氏「問題ない」

辺野古移設めぐり

菅義偉官房長官は19日午前の記者会見で、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の同県名護市辺野古への移設工事を環境面から監視する専門家委員会の委員が、移設事業の受注業者から寄付金を受けていた問題について、「委員会は公平中立な立場で議論が行われている。問題ないと認識している」と話した。

菅氏は「委員会は防衛省で専門分野、地域性などを勘案して選定した」と説明。そのうえで「委員会終了後、委員長が議事の概要をマスコミなどに説明し、議事の概要も防衛省のホームページで公表している」と述べ、問題ないという見解を示した。

50代 心の健康には 趣味持つか 仲間と運動を

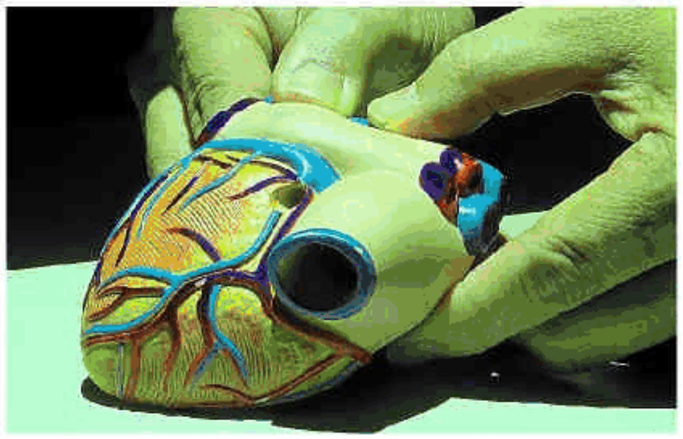
中年期の心の健康を保つには、趣味を持つか仲間と一緒に運動するのが有効、とする研究結果を筑波大などのチームがまとめた。1人でするランティア活動などでは効果がはっきりしなかったという。

厚生労働省が毎年実施している「中高年者縦断調査」の回答者のうち、2005年時点で心身ともに健康な50～59歳の男女約1万7千人のデータを抽出。「趣味」「運動」「地域行事」「子育て支援・教育」「高齢者支援」などの余暇・社会活動の有無と、心の健康指標の5年後の変化との関係を分析した。

その結果、何もしていない人に比べて、心の健康の悪化リスクが明らかに低かったのは運動と趣味。特に運動は、いつも誰かと一緒にする場合にのみ、明確な効果が認められた。

武田文・筑波大教授（公衆衛生学）は「仕事などの役割がある現役世代だからなのか、社会活動の効果はほっきりしなかった。余暇活動は他者との交流が有効だと考えられる」と話している。（吉田晋）

筑波大など分析



装置が反応する光の種類は変えられ、会見の際の実演では模型の臓器の赤い血管を青い光で照らした＝京都市左京区の京都大医学部付属病院

切りたい部分を臓器に投影

京大とパナ 手術の補助装置開発

壁面などの形に合わせて映像を投影するプロジェクションマッピングの技術を応用し、手術中に切りたい部分を光で色分けする装置を、京都大とパナソニックが開発した。臓器が動いても対応でき、高度な手術を補助する医療機器として承認を目指す。

グループは今後、がんなどによる肝切除の際の効果や安全性を調べる臨床研究を始め、将来は乳がんや肺がんなどへの応用も見込んでいる。

肝臓のがんは切除しか根治が期待できないが切りすぎると肝不全になる危険がある。このため肝臓の細胞に取り込まれて赤外線を発する色素を用いた技術が実用化されている。色素を切除しない部分の血管に注入し、モニターで赤外線が出ている部分を確認できる。

今回の装置はこの技術とプロジェクションマッピングを組み合わせた。赤外線を出す部分を装置で読み取り、その部分の臓器の表面に光を当てて色分けし、モニターを見なくても切除すべき場所が分かるようにした。モニターの確認をしなくていいので、グループの波多野悦朗准教授（肝胆膵・移植外科）は「医師のストレス軽減にもつながる技術だ」という。（阿部彰芳）

旧校舎 農と若者縁結び

「共育学舎」を主宰する三枝孝之さん＝新宮市熊野川町

寄り道 熊野古道 中辺路 22

早朝、熊野本宮大社前でロードバイクを組み立てた。旧社地・大斎原（おおゆのはら）の森が熊野川から立ちのぼる朝もやに包まれていた。

門前町を南へ抜け、国道を離れて左岸にわたった。40分ほど走った集落に「ばん工房木造校舎」の案内看板を見つけた。山際に赤い屋根の校舎があった。

旧敷屋小学校（新宮市熊野川町）である。校舎に入ると10人を超す若者でにぎわっていた。

2003年、休校中だった同校で三枝孝之さん(68)がNPO「共育学舎」を開いた。若者に住と食を提供し、ともに米や麦をつくりパンを焼いている。今は3人の若者が住んでいる。

三枝さんは静岡県の生まれ。「何のために生きるのか」という疑問が募って高校卒業後に定職にはつかなかった。インド独立運動に参加した人や元特攻隊員の話を聞き、禅寺で修行をし、時には物乞いもして、生きる目的を考えつづけたという。

次第に「何かのためではなく、ただ生きてりゃいいんだ」と思いはじめたのだが、他人の影響でそう考えるのか、自分自身で考えた結論なのか確かめたいと思った。40歳で人付き合いを絶ち、伊豆半島の海辺の、電気も水道もない小屋に閉じこもった。野菜や魚を自給し月5千円の生活費で10年間暮らした。

50歳になって社会にもどろうと思い、近畿、中国、四国と空き家をさがして歩き、98年に熊野川町にたどりついた。

畑仕事をはじめると、年々増えていく耕作放棄地に胸が痛んだ。そんなときに敷屋小学校の休校舎を知り、学びの場と農業を結びつけようと思い立った。

都会に奪われた人材を呼びもどすため、賞金つきの「田舎懸賞論文」を募った。すると、都市の学生が出入りしはじめた。パンづくりや店の運営について1週間をかけて伝授する講習も定期的に開いている。15万円を払って参加した70人超の受講生の6割が田舎移住を果たした。

田舎が再生していくには何が必要なのだろうか？

「これまで地方は農協や政府に言われるがままでした。先進事例のまねや行政依存ではなく、私たち自身が徹底的に考え抜いて、私たちのやり方で働くこと。そういう人が増えていけば、地域は元気になります」

共育学舎で暮らした若者が最近、下流の集落で本屋を開いたという。過疎のムラで経営がなりたつのだろうか。（藤井満）

デジタル版から 朝日新聞 DIGITAL
朝日新聞デジタルのコンテンツを紹介します

とっておき北陸

とっておき北陸オープン

今年3月の北陸新幹線の開通後、注目が集まる石川・富山・福井の3県。「とっておき北陸」ページを開設し、記者が仕入れた旬の観光情報を日々更新しています。動画や写真も満載です。旅のお供にどうぞ。

http://t.asahi.com/igt5

みりんを使いこなす

調理のコツを伝授する「おかずラボ」。「みりんを使いこなす」の2回目は、見た目にもおいしくみえる照り・つや効果です。みりんの方が、砂糖より効果が出ます。なぜでしょう？　「旬野菜の肉巻き」の作り方を動画でお伝えします。　http://t.asahi.com/ijop

■仏伊当局がVW捜索

独自動車大手フォルクスワーゲン（VW）がディーゼル車に不正ソフトウェアを積んで排ガス規制を逃れていた問題で、詐欺の疑いなどで捜査しているフランスとイタリアの警察当局は16日までに、各国にあるVWの現地法人本社などを捜索した。複数の欧米メディアが18日までに報じた。当局による不正問題の捜査が本格化している。

ロイター通信によると、フランスの消費者保護の規定で不正が確定すれば、最長懲役5年と60万ユーロ（約8100万円）の罰金が科される可能性がある。また、イタリアのANSA通信などは、当局は現地法人本社のほか、VWグループの高級スポーツ車メーカー「ランボルギーニ」の本社も捜索したと報じた。現地法人の最高経営責任者（CEO）らが捜査の対象という。（ロンドン）

■内戦不明者の捜索協力

半世紀にわたる内戦終結に向け、和平交渉を続ける南米コロンビアの政府と左翼ゲリラ「コロンビア革命軍」（FARC）は17日夜、戦闘などで犠牲になったとみられる行方不明者を協力して捜索することで合意した。不明者の捜索は、和平実現に遺族らの理解を得るために不可欠で、交渉の重要な一歩となった。

内戦で行方がわからなくなった人は、2万5千人以上いるとされる。身元が確定された遺体は早期に遺族へ帰したい考えだ。

報道によると、同国政府とFARCの交渉団はキューバの首都ハバナで、捜索や身元の特定を協力して進めることで一致した。（サンパウロ）